

小学校5・6年生～

2021年10月 no.79

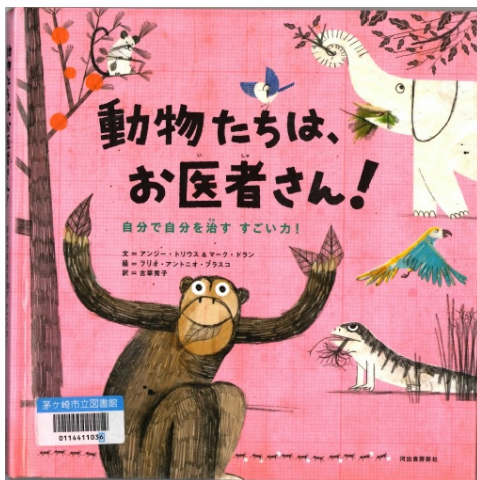
よんでネット* 2021 秋号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会

『動物たちは、お医者さん！ 自分で自分を治すすごい力！』

文 アンジー・トリウス & マーク・ドラン

絵 フリオ・アントニオ・ブラスコ 訳 古草秀子



河出書房新社

【E・絵本のコーナー】

ケガした！ カゼひいた！ ヘビにかまれた…。そんなとき、動物たちはどうしているのか、知っている？ 動物たちは、一匹一匹がお医者さん。サイは、泥を あびることで、皮膚を虫や紫外線から守っている。オマキサルは、トゲのある植物をクシにして、寄生虫を取りのぞくこともあるんだって。自然のなかでくらし、生きのびていく、動物たちのすごい技を、のぞいてみない？

『山はしっている』 リビー・ウォルデン作 リチャード・ジョーンズ絵 横山和江訳

山に生きるものは、山に見守られています。山ざわが 朝焼けに 染まるころ、シロイワヤギが岩の上を歩きます。昼間は こもれびの さしこむ林で鳥たちが さえずります。夜を待ちわびて ボブキャットが目をさめます。夜がまた朝になるように世界も 移っていきます。生きることのすべてを山はしっています。



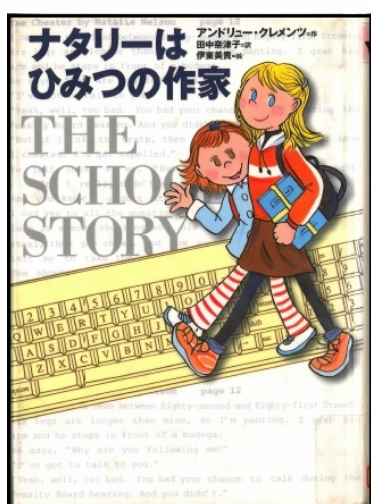
すずき出版 【E・絵本のコーナー】

『かぐやひめ』 円地文子・文 秋野不矩・絵

竹から生まれた^{かかや}輝くばかりに美しい^{ひめ}かぐや姫。
結婚を申し込んだのは身分の高い^{こうし}ち人の公子。誰とも
結婚する^{けっこん}気のない^{ひめ}姫は、結婚の条件として^{むずかしい}難しい
注文を出します。それは、険しい山に登ったり、はるか
彼方の海に^{かたは}こぎ出さなくては手に入らない^{たからもの}宝物
ばかり。知っているようで知らない物語を読んで
みませんか？



岩崎書店 [E・絵本のコーナー]



『ナタリーは ひみつの作家』

アンドリュー・クレメンツ 作 田中奈津子 訳 伊東美貴 絵

ニューヨークに住むナタリーは、文章を書くのが得意な6年生。
母親は本の編集者だ。親友のゾーイは、ナタリーの書いた
物語に感動して、本にしよう！と言い出した。編集者の
母親にバレないように、ナタリーはペンネームを使い、
ゾーイはエージェントを設立して大人のふりをして交渉を
するのだが…。二人の本作りの夢は叶うのか!?

講談社 [933ク]

『かくれ山の冒険』 富安陽子 作

少年^{なお}「尚」はふしぎな黒猫に^{さそ}誘いこまれ、森の奥の
屋敷にたどり着く。そこには「猫婦人」に猫に^{ねこ}変え
られた子ども達が^な閉じ込められていた。尚は子ども
達を救うため、猫婦人の弱点を知る「かくれ山」の
山姥^{やまんば}に会いに行くが…。鬼^{おに}、天狗^{てんぐ}、しゃべるねずみ…
不思議なものたちのすむ^い異界でくり広げられる
冒険^{ぼうけん}の物語。



PHP研究所 [913ト]